

## 環境産業委員会会議録

- 1 期 日 令和元年9月2日(月)
- 2 会 場 第1委員会室
- 3 開会時刻 午後1時
- 4 閉会時刻 午後1時32分
- 5 出席者 委員長 山本 裕三                      副委員長 嶺岡 慎悟  
          委員 山本 行男                      委 員 二村 禮一  
          委員 鈴木 久裕                      委 員 榛村 航一
- 6 審査事項  
    ・主要農作物の種子生産に係わる県条例の制定を求める意見書の提出に関する陳情書について
- 7 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

令和元年9月4日

市議会議長 大石 勇 様

環境産業委員長 山本 裕三

## 7 会議の概要

令和元年9月2日（月）午後13時から、第2委員会室において全委員出席のもと開催。

### 1) 委員長あいさつ

### 2) 継続審査

- ・主要農作物の種子生産にかかわる県条例の制定を求める意見書の提出に関する陳情書

[委員間討議 13:00～10:20]

[質 疑 10:20～10:23]

#### ○山本裕三委員長

委員間討議をお願いします。

#### ○二村禮一委員

サカタのタネや農協もそれほどこれについて困るという話が出てないのであれば、不採択でもいいのではないかな。

#### ○山本行男委員

言っていることはすごく大事なことだと思う。私は、趣旨採択をして中身についてはよく分かったとしてもいいと思う。

#### ○榛村航一委員

私も趣旨採択と考える。種子法廃止法案の可決にあたっては、しっかりと付帯決議がついているので、付帯決議をもって県がどのような動きをするのかというのを待ってから、必要があれば意見書を出す判断すればいいのではないかな。

#### ○鈴木久裕委員

私は、採択をすべきだと考える。県の取り組みは、取り組みだけなので、どのようにもなってしまうので、しっかりと制度として行うべきである。制度というのは、地域の田でできた種を外資に売り渡すべきではない。それは、非常に危惧すべきところだと思う。日本を守るために。

#### ○嶺岡慎悟委員

二村委員と同じ意見で、農協やサカタのタネ、耕作者の方も含めて特に市民レベルの方から要望が強くて出てきていないという現状がある中で、今回は不採択。趣旨採択というのも非常に悩むところではあるが、結論ははっきりと出すべきだと考えるので私は不採択。

#### ○山本裕三委員長

不採択が2名で、趣旨採択が2名で、採択が1名。委員長で判断してよろしいかな。

【委員長判断で問題ないとの声有り】

#### ○榛村航一委員

採択か不採択か2者択一と言え採択。

#### ○山本裕三委員長

採択か不採択かどちらかと言ったらどうですか。

#### ○山本行男委員

まだ、そこまでは。

- 鈴木久裕委員  
まだ、そこまではといっても、これからどんどん進んでいく話。これに基づく事実が世界の資本の中で進んでいく話。ほっとけばどんどん進んでしまう。
- 山本裕三委員長  
その中で、生産性のことを考えると総人口が100億人超えるとも言われている食糧問題のこともあって、そのバランスをちょうどよくとる。
- 鈴木久裕委員  
食糧問題で生産性をあげるためにというのは、外国の資本でやるとどのようになると思えますか。食料の生産性をあげるために、どうしないといけないと思うか。
- 山本裕三委員長  
品種改良等。
- 鈴木久裕委員  
地域にあったおいしいお米、地域の気候にあったお米。というのがなされている。そして、各地域がブランドを競うというのが今の状況。
- 山本裕三委員長  
非常にこれは難しい問題だと思う。
- 山本裕三委員長  
趣旨採択については、嶺岡委員と二村委員はどう思うか。
- 嶺岡慎悟委員  
はっきりとして掛川市議会としてどうすべきかは出すべきかと思いましたが、今回は内容としては非常に理解できる内容なので、そういった意味では納得はできています。
- 二村禮一委員  
本家のサカタのタネや農協が何も要望をしていないのに、そういう中であえて議会が取り上げる必要はないのではないかという思い。
- 山本裕三委員長  
趣旨採択についてはどう思うか。
- 二村禮一委員  
それは、分からないでもない。それでも、農協等が何も言ってこないのであれば不採択でいいのではないか。本家が言ってもいないのに、掛川市議会として採択する必要はないのでは。
- 山本裕三委員長  
私の今の考えだが、掛川市がどういうまちかというところがけっこう係わるのではないか。地域を大事にとか。生涯学習も含めて地盤の力。地域を大事にするというところでは、この意見書は理解ができる。そこは、市として示すべきなのかと思う。まちのあり方として。掛川市が、どういうまちかということを見ると、趣旨を理解したと言ってもいいという思いがある。
- 二村禮一委員  
悩まなければ趣旨採択でもいいのでは。
- 山本裕三委員長  
ここまで、議論したということもある。
- 山本行男委員

する必要はないということでもない。

○山本裕三委員長

調査をして心配にはなった。

○榛村航一委員

採択にするにしても、これは米と麦と大豆だけなので。採択しているところは米所等意識の高いところが多い。

○山本裕三委員長

そういうところの県の考えるもある程度理解できるということで、趣旨採択でいいのでは。

○榛村航一委員

日本人はお米を守るべきかなというのが私の中にはある。

○山本裕三委員長

趣旨採択について採決をとる。

[採 決]

主要農作物の種子生産にかかわる県条例の制定を求める意見書の提出に関する陳情書

全会一致にて趣旨採択

3) その他

4) 閉会 13:32